

# 令和3年度版『現代の国語』年間学習指導計画例

## ■1年

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
4	1 豊かに想像する	<b>朝のりレー</b> <b>【読む(詩)】</b> 2時間 ●詩の構成や表現の効果について考えながら、情景を想像して音読する。(Cエ) ●詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩の構成や表現の効果について考えながら、情景を想像して音読する。 ・本文中の地名の位置を確認し、地球を思い浮かべながら音読する。 ・朝と夜を表す表現に着目し、表現の巧みさについて考える。	<b>知・技</b> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1ウ)	小説や随筆などを読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		2	2 詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。 ・「朝をりレーする」とはということか、考えたことを書く。 ・書いたことをもとに、考えを共有する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして</u> いる。(Cオ)		
		<b>竜</b> <b>【読む(物語)】</b> 4時間 ●描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。(Cイ) ●擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を通読し、場面ごとの内容を捉える。 ・本文を通読し、場面の区切りを確認する。 ・場面ごとのできごとをまとめ、タイトルをつける。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2イ)	小説や随筆などを読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
2	2 描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。 ・「気の弱い微笑」と「気の弱そうな苦笑い」を比較する。 ・二つの表現に表れた三太郎の変化を捉える。	<b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</u> (Cイ) ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)				
			3	3 擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。 ・擬声語・擬態語を探し、表現の効果について考える。	<b>主</b> ・進んで心情の変化などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	
			4	4 物語における表現の効果について考えを深める。 ・おもしろいと思ったできごとや表現を探す。 ・おもしろさの理由を考えて、紹介し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
5		<b>グループディスカッション 話題や展開にそって 話し合いをつなげる</b> <b>【話す・聞く】</b> 4時間 ●話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解し、活用する。(Aオ) ●必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめる。(Aエ)	1  2 3-4	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解する。 ・話し合い記録から、「話し合いのこつ」を見つける。 ・「話し合いのこつ」のはたらきや効果について考える。 2 話し合いをつなげるための方法を、グループディスカッションで活用する。 ・「話し合いのこつ」を活用して、グループディスカッションを行う。 ・効果的な発言とその効果を、発言メモにまとめる。 3 記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめる。 ・発言メモをもとに、グループディスカッションを振り返る。 ・特に効果的だった発言や、「話し合いのこつ」について交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(Aエ) ②「話すこと・聞くこと」において、 <u>話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ)</u> <b>主</b> ・積極的に話題や展開を捉え、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(Aイ)
		<b>言葉発見① 音声のしくみとはたらき</b> 1時間 ●音声のはたらきやしぐみについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 日本語の音節や五十音図のしくみなどを理解し、音声のしくみとはたらきについて考える。 2 「五十音図とローマ字」を見て、母音と子音のしくみを確認する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 4 日本語と英語の音節の違いについて理解を深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <u>音声のはたらきやしぐみについて、理解を深めている。(1)ア)</u> <b>主</b> ・進んで音声のはたらきやしぐみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう①</b> 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</u> ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
6	2 わかりやすく伝える	<b>読み方を学ぼう①</b> <b>説明文の基本構造</b> <b>ペンギンの防寒着</b> <b>【読む(説明)】</b> 1時間 ●説明文の基本構造を理解する。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 説明文の基本構造を理解する。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・「本論」に書かれたペンギンの保温のしくみを読み取る。 ・「序論」「本論」「結論」の役割を捉える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	(※「クジラの飲み水」と合わせて評価する。)	-
		<b>クジラの飲み水</b> <b>【読む(説明)】</b> 4時間 ●段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。(Cア) ●読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。(Cエ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章全体の構成と要旨を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 → <b>読み方を学ぼう① 説明文の基本構造</b> ・筆者が立てた「問い」に対する「仮説」を見つめる。 ・筆者が立てた「問い」に対する「答え」について、二〇〇字程度の文章にまとめる。 3 2 表現の工夫を探して、その効果を捉える。 ・筆者が読み手にわかりやすく伝えるためにしている工夫を探す。 ・探した表現の工夫について、その効果を考える。 4 3 二つの文章を読み比べて、考えたことを発表する。 ・「クジラの飲み水」と「ペンギンの防寒着」を読み比べる。 ・読み比べて考えたことを発表し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ <b>思・判・表</b> <b>①「読むこと」</b> において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) <b>②「読むこと」</b> において、 <u>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</u> <b>主</b> ・進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを報告しようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告する。(Cア)
		<b>漢字のしくみ 1</b> <b>活字と手書き文字・画数・筆順</b> 1時間 ●活字と手書き文字・画数・筆順について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の字体、書体の違いを理解する。 2 漢字の画数・筆順について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> <b>①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。((1)イ)</b> <b>②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ)</b> <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>レポート</b> <b>調べたことを整理して</b> <b>わかりやすくまとめる</b> <b>【書く】</b> 5 時間 ●調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。(Bア) ●レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。(Bイ)	1	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 身のまわりのものやできごとから課題を決める。 ・身近なものや身のまわりのできごとから「問い」を立てる。 ・「問い」を手がかりにして、レポートの課題を決める。 ・予想を立てる。 2-3 2 情報を集めて整理し、伝えたい内容を明確にする。 ・情報を得る方法を考えて調査を行い、調べた情報を記録する。 →資料編「情報探しの方法」 →資料編「引用と著作権」 ・集めた情報を分類し、整理する。 4-5 3 レポートの構成を理解し、表などを効果的に用いて書く。 ・レポートの形式に従って書く。 ・完成したレポートを読み合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、 <u>集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</u> (Bア) ②「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(Bイ) <b>主</b> ・粘り強く集めた材料を整理し、学習の見通しをもってレポートを書こうとしている。	本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれをもとに考えたことを書く。(Bア)
		<b>言葉発見②</b> <b>話し言葉と書き言葉</b> 1 時間 ●話し言葉と書き言葉の違いについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 話し言葉と書き言葉の特徴について考える。 2 イントネーション・プロミネンスについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①音声のはたらきやしきみについて、 <u>理解を深めている。</u> ((1)ア) ②学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。((1)イ) ③事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) <b>主</b> ・進んで音声のはたらきやしきみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう②</b> 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例	
7	3 ものの見方・感性を養う	<b>空中ブランコ乗りのキキ</b> <b>【読む(物語)】</b> <b>読み方を学ぼう②</b> <b>人物相関図</b> 4時間 ●描写をもとに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを捉える。(Cイ) ●登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 登場人物の相互関係を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・物語の登場人物を整理する。 → <b>読み方を学ぼう②</b> 人物相関図 → <b>読書の広場「紅鯉」</b> ■二次元コード■	<b>知・技</b> ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ②比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) ②「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして</u> いる。(Cオ) <b>主</b> ・進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説や随筆などを読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)	
		2	2 描写をもとに、場面の展開や心情の変化を捉える。 ・キキの気持ちを場面ごとに捉える。 ・なぜ四回宙返りに挑んだのかを考える。	3	3 本文中の描写が表すものの意味について考える。 ・「白い大きな鳥」が表しているものを考える。 ・理由をあげながら、考えたこと、想像したことを話し合う。	4	4 登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。 ・キキの行動や考えについて自分の考えを文章にまとめる。 ・文章をもとに話し合い、考えを共有する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。
		1-3	<b>文法の窓 1</b> <b>文法のまとめ</b> <b>言葉の単位・文節の関係</b> 3時間 ●言葉の単位・文節の関係について理解する。(知・技(1)エ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「文法の窓 1」で言葉の単位・文節の関係について考える。 2 「文法のまとめ」1「言葉の単位」で、言葉のまとまりについて理解する。 3 「文法のまとめ」2「文節の関係・連文節文の成分」で、文の基本的なしくみについて理解する。 4 「確認しよう 1」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <u>単語の類別について理解している。</u> ((1)エ) <b>主</b> ・進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-	
1	<b>字のない葉書</b> <b>【読む(随筆)】</b> <b>読み方を学ぼう③</b> <b>行動描写</b> 3時間 ●場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈する。(Cウ) ●行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。(Cイ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈する。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・手紙・葉書にまつわる思い出について、それぞれの内容をまとめる。 2 2 行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。 ・後半部分について、父の行動の描写を捉える。 ・父の行動から、心情の変化を読み取る。 → <b>読み方を学ぼう③</b> 行動描写 → <b>読書の広場「電車は走る」</b> ■二次元コード■ 3 3 「私」の父に対する思いについて考える。 ・今の「私」の父に対する思いについて、昔と比べながら考える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</u> (Cイ) ②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ) <b>主</b> ・進んで心情の変化などについて描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	随筆を読み、考えたことなどを記録する。(Cイ)			

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字のしくみ 2 部首と成り立ち 1 時間 ●漢字の部首と成り立ちについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の部首と意味の関係について理解する。 2 漢字の成り立ちについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。(1)イ ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		随筆 体験に向き合い 意味づける 【書く】 4 時間 ●日常生活の体験の中から題材を決め、表現したいことの中心を明確にしてまとめる。(Bア) ●交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。(Bオ)	1 2-3 4	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活の体験の中から題材を決める。 ・これまで書いた文章や日記を読み返すなどして、体験を振り返る。 ・書く題材を決め、体験をとおして生じた思いや考えを書き出す。 2 表現したいことの中心を明確にしてまとめる。 ・表現したいことを明確にして、全体の構成を考える。 ・体験したことを詳しく具体的に書く。 ・印象に残るように工夫して自分の思いを書く。 3 交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。 ・書いた随筆を読み合う。 ・構成や描写の工夫などについて、感想や意見を交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。(Bア) ②「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) 主 ・粘り強く日常生活の中から題材を決め、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	随筆を書くなど、感じたことや考えたことを書く。(Bウ)
		私の読書体験 本を読むことのおもしろさ 2 時間 ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解し、読書をとおして自分の考えを確かなものにする。(知・技(3)オ, Cオ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、感想を交流する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・感じたことや考えたことを交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・学校図書館などで、本を選んで読む。 →読書の広場「小さな図書館」 ・互いに本を紹介したり感想を伝え合ったりする。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ 思・判・表 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。(Cオ) 主 ・進んで自分の考えを確かなものにし、学習したことを生かして学校図書館などを利用し、多様な情報を得ようとしている。	学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(Cウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>漢字を身につけよう③</b> 1 時間  ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> <b>①</b> 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ) <b>②</b> 事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
9	4 論理的に考える	<b>玄関扉</b> <b>【読む(説明)】</b>  <b>読み方を学ぼう④</b> <b>三角ロジック</b> 4 時間  ●文章の要旨を捉え、筆者の考えに対して自分の考えをもつ。(Cア, Cオ) ●論の展開・構成をふまえて、「外開き」が肯定される過程を捉える。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の構成と要旨を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・「外開き」が「日本人の生活様式に適した、現実的な解決」と筆者が述べる理由をまとめる。 2 2 「内開き」についての筆者の考えを整理する。 ・本文から、「内開き」についての記述を書き出し、「主張」「事実」「理由づけ」に整理する。 ・「内開き」がヨーロッパ的な考えを反映していると筆者が述べる理由をまとめる。 → <b>読み方を学ぼう④</b> 三角ロジック → <b>読書の広場「この小さな地球の上で」</b> <b>■二次元コード■</b> 3 3 論の展開・構成をふまえて、「外開き」が肯定される過程を捉える。 ・「外開き」に対する筆者の考えについて、それを支える事実と理由づけを捉える。 ・「引き戸」についての論述が果たしている役割について考える。 4 4 筆者の考えに対して自分の考えをもつ。 ・筆者の考えに納得できるかできないか、自分の考えをまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> <b>①</b> 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>②</b> 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) <b>思・判・表</b> <b>①</b> 「読むこと」において、 <u>文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア)</u> <b>②</b> 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) <b>③</b> 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) <b>主</b> ・進んで事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる。(Cア)
		<b>言葉発見③</b> <b>接続する語句・指示する語句</b> 1 時間  ●指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める。(知・技(1)エ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 接続する語句について理解する。 2 指示する語句について理解する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> <b>①</b> 事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) <b>②</b> 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>スピーチ 構成を工夫して 魅力を伝える</b> <b>【話す・聞く】</b> 5時間 ●日常生活を振り返って話題を選び、自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。(Aア, AI) ●聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。(AU)	1 2-3 4-5	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活の中から話題を探す。 ・スピーチの内容を考える。 2 自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。 ・スピーチの構成を考える。 ・スピーチの練習をする。 3 聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。 ・グループでスピーチを行う。 ・相互評価する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・原因と結果、意見と根拠など、情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決めている。(Aア) ②「話すこと・聞くこと」において、 <u>自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。</u> (AI) ③「話すこと・聞くこと」において、相手の反応をふまえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(AU) <b>主</b> ・積極的に構成を考え、学習の見通しをもって話そうとしている。	紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(Aア)
		<b>漢字を身につけよう④</b> 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
10	5 古典に学ぶ	<b>月を思う心</b> <b>【読む(解説)】</b> 1時間 ●古典の世界への理解を深め、月と人々との関わりについて考える。(知・技(3)イ, Cア)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 月と人々との関わりについて考える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・月と昔の人々の生活について想像し、人々の月への思いについて考える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。((3)イ) <b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、 <u>文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。</u> (Cア) <b>主</b> ・進んで要旨を把握し、学習したことを生かして考えたことを報告しようとしている。	説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告する。(Cア)



月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>竹取物語</b> <b>【読む(古文)】</b>  <b>古文の読み方</b> <b>古典の仮名遣い</b> 4時間  ●古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界を感じ取る。(知・技(3)ア) ●登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。(Cイ、Cウ、Cオ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、内容を捉える。 ・歴史的仮名遣いや古典の言葉に注意して音読する。 ・登場人物の相互関係を整理し、物語のあら筋を捉える。 2 登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。 ・主な登場人物の言動から性格を想像し、感じたことを書く。 ・最も悲しんだのは誰か、理由とあわせて考える。 3 古典の世界を感じ取り、現代と比べて考えを広げる。 ・約千年たっても変わらないところと、変わったところを考える。 ・考えたことを話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</u> (Cイ) ②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈している。(Cウ) ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) <b>主</b> ・進んで登場人物の相互関係や心情の変化を描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説や随筆などの文章を読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		<b>表現プラザ</b> <b>変わり身の上話</b> <b>【書く】</b> 2時間  ●目的や意図に応じて、身のまわりから題材を取り上げて書く。(Bア) ●交流をとおして題材の特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などを見つける。(Bオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 目的や意図に応じて、身のまわりから題材を決め、内容を考える。 ・例を参考にして、何になり変わるかを決める。 ・なり変わるものとの「会話文」を考える。 ・なり変わったものの立場から想像を広げて、その特徴が表れる内容や形式を考える。 2 交流をとおして題材の特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などを見つける。 ・「会話文」をもとに、変わり身の上話をまとめる。 ・グループで作品を読み合い、交流する。 ・それぞれの作品からよい点を見つけ、自分の表現に生かす。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。(Bア) ②「書くこと」において、 <u>根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</u> (Bオ) <b>主</b> ・粘り強く文章のよい点や改善点を見いだし、学習の見通しをもって短い話を書こうとしている。	詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く。(Bウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>故事成語——矛盾</b> <b>【読む(漢文)】</b>  <b>漢文の読み方 訓読の仕方</b> 3時間 ●訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。(知・技(3)ア) ●話の展開を捉え、表現の効果について考える。(Cエ, Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。 ・漢文調のリズムに注意して「矛盾」を音読し、話の流れを捉える。 ・訓読の仕方について理解する。	<b>知・技</b> ・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	小説や随筆などを読み、考えたことを記録する。(Cイ)
			2	2 「矛盾」の話の展開を捉え、他の故事成語について調べる。 ・「矛盾」の意味の由来について、四つの絵を用いて説明する。 ・他の故事成語について調べ、それを使って短い文章を作る。	<b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</u> ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ)	
			3	3 故事成語の優れた点やおもしろさ、表現の効果について考える。 ・故事成語の優れた点やおもしろさなどについて、自分の考えを書く。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 <学びを広げる> ・故事成語の一つを選び、その物語を四コマ漫画で表す。 →■二次元コード■	<b>主</b> ・進んで文章の構成や表現の効果捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	
		<b>漢字のしくみ 3 漢字の音と訓</b> 1時間 ●漢字の音と訓について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の音読みと訓読みについて理解する。 2 同音異字と同訓異字について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。(1)イ)</u> ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)	-
		<b>漢字を身につけよう⑤</b> 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</u> ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)	-
					<b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
11	6 情報を関係づける	<b>複数の情報を関連づけて考えをまとめる</b> <b>【情報】</b> <b>防災に関するデータ</b> <b>【読む(図表)】</b> <b>「みんなでいるから大丈夫」の怖さ</b> <b>【読む(記録)】</b>  話す・聞く…2時間 読む…3時間  ●意見と根拠などの関係に注意し、互いの発言を結びつけながら話し合い、考えをまとめる。(知・技(2)イ, Aオ) ●原因と結果、意見と根拠などの関係に注意しながら、文章などを読んで理解したことをもとに自分の考えをもつ。(知・技(2)ア, Cア, Cウ, Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 資料A「防災に関するデータ」のグラフを読み取る。 ・グラフの一つ一つの項目からわかることを見つめる。 2 グラフから読み取ったことをもとに、課題について話し合う。 ・わかったことをもとに防災意識を高めるための課題を考える。 ・いくつかの項目を関連づけて、課題について話し合う。	<b>知・技</b> ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ②比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、 <u>話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ)</u> ②「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) ③「読むこと」において、 <u>目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ)</u> ④「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) <b>主</b> ・積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(Aイ) 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(Cウ)
			2	1 資料B「『みんなでいるから大丈夫』の怖さ」を読む。 ・本文を通読し、内容を捉える。 2 筆者の意見を捉える。 ・筆者の行った実験の内容をまとめる。 ・実験の結果から導き出される筆者の意見を捉える。		
			3-4	1 資料Aと資料Bを関連づける。 ・グラフから読み取ったことと文章から読み取ったことに共通する項目、関連する項目を見つめる。 ・必要に応じて、学校図書館やインターネットを活用し、関連する多様な情報を収集する。 2 課題について、自分の考えをまとめる。 ・読み取ったことや調べたことをもとに、根拠となるデータや文章の一部を引用して、自分の考えをまとめる。		
			5	1 グループで話し合っ、考えを深める。 ・それぞれの考えを交流する。 ・互いの考えの共通点や相違点に着目しながら話し合い、課題についての考えを深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>行事案内リーフレット 必要な情報を わかりやすく伝える</b> <b>【書く】</b> 4時間 ●集めた材料を、書く目的や 意図に応じて整理し、伝え たいことを明確にする。(B ア) ●読み手の立場に立って文 章を読み返し、表記や表 現の仕方を整える。(Bエ)	1 2-3 4	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見 通しをもつ。 1 リーフレットに掲載する内容を定める。 ・案内する行事を決め、掲載する項目の候補 を書き出す。 ・届ける相手を決める。 ・行事についての情報を集め、掲載内容を考 える。 2 構成を考える。 ・各記事の場所や分量、イラストや写真の配 置などを考える。 ・完成イメージを簡単な図にする。 3 推敲する。 ・グループで下書きを読み合い、修正して清 書する。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自 分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情 報の整理の仕方について理解 を深め、それらを使っている。 ((2)イ) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、集めた材料 を整理し、伝えたいことを明確に している。(Bア) ②「書くこと」において、 <u>読み手の 立場に立って、表記や語句の用 法、叙述の仕方などを確かめて、 文章を整えている。</u> (Bエ)	行事の案内 や報告の文 章を書くな ど、伝えるべ きことを整理 して書く。(B イ)
		<b>文法の窓 2 文法のまとめ 単語の類別・品詞</b> 3時間 ●単語の類別・品詞について 理解する。(知・技(1)エ)	1-3	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「文法の窓 2」で単語の類別や品詞につい て考える。 2 「文法のまとめ」「3 単語の類別・品詞」で、単 語の類別や品詞について理解する。 3 「文法のまとめ」「4 名詞」「5 副詞・連体詞・接 続詞・感動詞」で、各品詞の特徴を理解す る。 4 「確認しよう 2」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自 分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <u>単語の類別について理解してい る。</u> ((1)エ) <b>主</b> ・進んで単語の類別について理 解し、学習したことを生かして課 題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう⑥</b> 1時間 ●常用漢字の読み・書きにつ いて理解を深める。(知・技 (1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ① <u>学年別漢字配当表に示されて いる漢字に加え、その他の常用 漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。 また、学年別漢字配当表の 漢字のうち 900 字程度の漢字を 書き、文や文章の中で使ってい る。</u> ((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句 の量を増している。((1)ウ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解 を深め、学習したことを生かして 課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
12	7	<b>それだけでいい</b> <b>【読む(詩)】</b>  <b>読み方を学ぼう⑤</b> <b>詩の表現技法</b>  2時間  ●詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。(Cウ) ●表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。 ・繰り返される表現を意識して、音読する。 ・山、海、星について、「……だけでいい」といっている理由を考える。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2イ)  <b>思・判・表</b> <b>①「読むこと」</b> において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ) <b>②「読むこと」</b> において、 <u>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</u>	小説や随筆などを読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		2	2 表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。 ・第三連までと、第四連との共通点・相違点について話し合う。 → <b>読み方を学ぼう⑤</b> <b>詩の表現技法</b> → <b>読書の広場「古事記」</b> <b>■二次元コード■</b> ・第五連が一行のみで表現されていることの効果について、交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>主</b> ・進んで文章の構成や展開、表現の効果捉え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。		
		<b>言葉発見④</b> <b>比喩・倒置・反復・対句・体言止め</b>  1時間  ●比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使う。(知・技(1)オ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 比喩(直喩・隠喩・擬人法)について理解する。 2 倒置・反復・対句・体言止めについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> <b>①</b> 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1ウ) <b>②</b> <u>比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ</u>  <b>主</b> ・進んで表現の技法を使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>詩</b> <b>思いや発見を</b> <b>リズムに乗せる</b> <b>【書く】</b> 4時間 ●日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理して、伝えたいことをしぼり込む。(Bア) ●自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫し、作品全体を整える。(Bエ)	1	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活の中から題材を決め、集めた題材を整理して、伝えたいことをしぼり込む。 ・日常生活の中から、詩の題材を選ぶ。 ・題材の中心を明確にして、伝えたいことをしぼり込む。 2 2 自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫する。 ・伝えたい思いが伝わる表現になるよう工夫して書く。 ・詩の表現技法を効果的に活用する。 3 3 推敲して作品全体を整える。 ・自分の思いがうまく表現されているか読み返し、推敲する。 ・複数の観点で比較しながらふさわしい表現を選び、作品全体を整える。 4 4 交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。 ・完成した詩を読み合う。 ・伝わってきた思いや表現の工夫などについて、気づいたことを交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。(Bア) ②「書くこと」において、 <u>読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</u> (Bエ) <b>主</b> ・粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。	詩を創作するなど、感じたことや考えたことを書く。(Bウ)
		<b>トロッコ</b> <b>【読む(小説)】</b> <b>読み方を学ぼう⑥</b> <b>情景描写</b> 5時間 ●人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。(Cイ) ●情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。(Cウ、Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 主人公のトロッコに対する思いを捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・良平が、トロッコにどのような思いを抱いているかを考える。 2 2 人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。 ・登場人物の言動に着目する。 ・場面ごとに良平の心情を読み取り、その変化を捉える。 3 3 情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。 ・本文から情景描写を抜き出す。 ・情景描写から想像できる良平の心情と、表現の効果を考える。 → <b>読み方を学ぼう⑥</b> 情景描写 → <b>読書の広場「紅鯉」</b> ■二次元コード■ 5 4 最後の一文に描かれた情景から、作品を読み深める。 ・最後の一文から受けるイメージについて考える。 ・大人になった良平と、「そのときの彼」との共通点について考える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) ②「読むこと」において、 <u>場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。</u> (Cウ) ③「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) <b>主</b> ・進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを記録しようとしている。	小説を読み、考えたことを記録する。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>読書活動 ブッククラブ</b> <b>【話す・聞く】</b> 2 時間 ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。(知・技(3)オ) ●話し手の考えとの共通点や相違点をふまえながら、自分の考えをまとめる。(Aエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本を読み、交流したい内容を考える。 ・グループで読む本を一冊決める。 → <b>読書の広場「小さな図書館」</b> ・決めた本を個人で読む。	<b>知・技</b> ①引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ②読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)	紹介や報告など伝えたいことを話したり、それを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(Aア)
		2	2 グループで意見を交流し、読んだ本について自分の考えをまとめる。 ・グループになって、本を読んだ感想などを交流する。 ・グループのメンバーの話聞きながら、共通点や相違点をふまえて、自分の考えをまとめる。 ・グループで交流した内容をクラスに紹介する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>思・判・表</b> ・「話すこと・聞くこと」において、 <u>必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。</u> (Aエ) <b>主</b> ・積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって紹介したいことを話したり聞いたりしようとしている。		
		<b>漢字を身につけよう⑦</b> 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)	-
					<b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
1	8 視野を広げる	<b>意味と意図</b> ——コミュニケーションを 考える <b>【読む(説明)】</b> <b>読み方を学ぼう⑦ 要約</b> 4時間 ●必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。(Cウ) ●文章で読んで理解したことをもとに、自分の考えを深める。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章に示された事例について、比較して捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「意味」と「意図」について、本文を抜き出して整理する。 ・「ジャガイモ」と「窓」の例の共通点を見つける。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ <b>思・判・表</b> <b>①「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ)</b> <b>②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(Cオ)</b> <b>主</b> ・進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(Cア)
		2	2 必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。 ・「意図の理解」について、具体例をもとに捉える。 ・「意図の理解」が重要な理由を説明する。 → <b>読み方を学ぼう⑦ 要約</b> → <b>読書の広場「食感のオノマトペ」</b> <b>二次元コード</b>	3-4		
		<b>言葉発見⑤</b> <b>方言と共通語</b> 1時間 ●共通語と方言の果たす役割について理解する。(知・技(3)ウ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 地域による言葉の違いがあることを理解する。 2 方言のアクセントの特徴について考える。 3 方言と共通語の使い分けについて考える。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> <b>①事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)</b> <b>②共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ)</b> <b>主</b> ・進んで共通語と方言の果たす役割について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-



月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>意見文 根拠を明確にして 考えを述べる</b> <b>【書く】</b> 6時間 ●伝えたい内容の中心が明確になるように、文章の構成や根拠の明確さを意識してまとめる。(Bイ, Bウ) ●根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。(Bオ)	1-2 3-4 5 6	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 交流をとおして意見をまとめる。 ・共感したり、違和感を覚えたりした体験を思い起こす。 ・交流をとおして、体験とそのときの思いや感覚を明らかにする。 ・体験から導き出された自分の意見を書き出す。 ・事実や理由づけを整理して三角ロジックの形で書き出す。 2 意見の根拠を明確にして意見文を書く。 ・「事実」や「理由づけ」を用いて、意見の根拠が明確になるような組み立てを考える。 ・根拠を明確にしながらい意見文を書く。 3 読む人に内容が伝わりやすいタイトルを考える。 ・いろいろなタイプのタイトルを試す。 ・文章の内容を推測できる効果的なタイトルを考える。 4 書いた意見文を読み合い、意見や感想を交流する。 ・完成した意見文を読み合う。 ・「納得できたか」「根拠は明確か」など、意見や感想を伝え合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> <b>①「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(Bイ)</b> <b>②「書くこと」において、根拠を明確にしながらい、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ)</b> <b>③「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)</b> <b>主</b> ・粘り強く根拠が明確になるよう工夫し、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。	本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれをもとに考えたことを書く。(Bア)
		<b>漢字を身につけよう③</b> 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> <b>①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)</b> <b>②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ)</b> <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
2	9 振り返って見つめる	<b>少年の日の思い出</b> <b>【読む(小説)】</b> <b>読み方を学ぼう⑧</b> <b>語り手・視点</b> 5時間 ●登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉える。(Cイ) ●過去を回想する構成や語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。(Cエ, Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 過去を回想する構成と登場人物の相互関係を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・現在の場面と過去の場面に分けて登場人物を書き出し、関係を整理する。	<b>知・技</b> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) ②「読むこと」において、 <u>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</u> ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) <b>主</b> ・進んで文章の構成や表現の効果捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説を読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		2	2 登場人物の人物像を、描写をもとに捉える。 ・「僕」のチョウに対する熱情を読み取る。 ・「僕」から見たエーミールの人物像を捉える。			
			3-4	3 登場人物の心情の変化を、描写をもとに捉える。 ・場面ごとに「僕」の心情を読み取り、その変化を捉える。 ・最終場面の描写から、「僕」の行為の意味を考える。		
			5	4 語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。 ・エーミールの人物像を自分の視点から捉え直す。 → <b>読み方を学ぼう⑧</b> 語り手・視点 → <b>読書の広場「電車は走る」</b> <b>■二次元コード■</b> ・現在の場面が果たす役割を捉え、表現の効果について考える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		
		<b>漢字を身につけよう⑨</b> 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)</u> ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
3		<b>グループ新聞 一年間の自分とクラスを 振り返って</b> <b>【話す・聞く】</b> 3時間 <b>【書く】</b> 5時間 ●取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりして、考えをまとめる。(Aア, Aオ) ●読み手の立場に立って文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。(Bウ, Bエ)	1-2 3-4 5-8	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 編集会議を開き、記事の内容を決める。 ・できごとを振り返り、記事にしたいものを書き出す。 ・四、五人のグループで編集部を作る。 ・編集部内で感想や情報を交換し合い、新聞の特徴、新聞名、記事の候補を決める。 ・記事の候補について、取材や編集会議をする。 →資料編「情報探しの方法」 2 レイアウトを決めて、記事を書く。 ・記事の場所を割り振り、字数・紙面の形と大きさ・見出し・写真の有無を確認する。 ・記事の執筆担当者を決め、文章を書き、図表やイラストを作成する。 3 記事を推敲して紙面を作り、新聞を読み合う。 ・記事を持ち寄り、読み手の立場に立って文章を読み合う。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 ・レイアウトにそって構成し、紙面を完成させる。 ・新聞を作る際に工夫したこと、新聞を読んで新たに気づいたことや感じたことを交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、 <u>集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア)</u> ②「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ) ③「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) ④「書くこと」において、 <u>読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ)</u> <b>主</b> ・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもってグループ新聞を作ろうとしている。	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(Aイ) 本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれをもとに考えたことを書く。(Bア)
		<b>歌の言葉 栄光の架橋</b>	-	-	-	-